



田野 香織



山本 のゆり

# いながわ 特派員報告

安全で安心して生活できるまちづくりのお手伝い

## こんにちは！ 白金わんわん見まわり隊です

今年1月「白金わんわん見まわり隊」が誕生しました。誕生から半年、見まわり隊の皆さんの様子を取材するため白金のまちを訪ねました。

どんな活動をしているの？

住民が愛犬の散歩をすること、これが白金わんわん見まわり隊の活動です。名前の通り、白金のまちを見まわるワンちゃんたちが主役です。



子どもたちの人気者「コロ」  
(柴犬・3歳)

自動販売機荒らしなどを減らすなどの効果をあげていることです。そしてこれらの活動を参考に、白金の住民が自治会を母体として立ちあげたのが「白金わんわん見まわり隊」です。今年1月20日に白金自治会館で発足式が開催され、見まわり隊の活動は翌日の日刊紙でも紹介されました。



見まわり隊隊長の「むめ」  
(チワワ・5歳)

愛犬と散歩をすることが、まちの環境美化や飼い主のマナー向上、犯罪の抑止となり、子どもや住民の安全、安心につながっています。

誕生のきっかけは？

豊中市では7団体のわんわんパトロール隊が活動しています。日々の愛犬の散歩だけでなく、ホームページで活動を紹介したり、合同パトロールを行ったり、現在千歳近くのワンちゃんが活動しています。注目すべきは、これらの活動が市内の街頭犯罪（ひったくり・空き巣・



人なつこい性格の「ラック」  
(柴犬・2歳)



アイビー



立派なお耳の「リボン」  
(ビーグル・12歳)



ロッキー



チェリー



とっても人なつこいロビン  
(柴犬・7歳)



優しい性格の「ラピス」  
(ラザードールレトリバー・4歳)

皆さんに聞きました

◆愛犬の散歩が住みよいまちづくりにつながるには良いアイデアですね

「先に取り組んでいた豊中市で非常に効果がありましたから、白金でこの話がでた時はノウハウをいかそうと思いました。」

「自分の子どもがまだ小さいですし、立ちあげの話を聞いた時はぜひ、と思いました。」

「ワンちゃんの散歩ですから、義務もなく気楽なボランティアとして地域に貢献できます。」

「ランダムな時間帯にいろんな人がワンちゃんの散歩をすることは大きな抑止力になります。もっと見まわ



わんぱくなザン(ポメラニアン黒・7歳)  
もの静かなレイ(ポメラニアン茶・9歳)

「散歩の場所も時間帯も全て自由。あくまでワンちゃんが主体の活動です。活動を続けるためには、規約などのしほりをできる限り少なくすることが大事だと思っています。」

◆散歩をする時のルールなどはありますか？

「隊の隊員が増えて、しつけ教室などを開催し、交流の場ができればと思っています。」



ルル



フルール

### 白金自治会の皆さん 隊員募集中です！

見まわり隊では現在 49頭のワンちゃんたちが活動しています。

白金自治会会員で、見まわり隊の活動へ参加を希望される人は、メモ用紙などに①住所②氏名③電話番号を記入のうえ、白金自治会館のポストへ投函ください。

散歩中の見まわり隊の人に直接声をかけていただいても結構です。夏まつりなどのイベントでも随時募集していく予定です。

ワンちゃんと一緒にまちを見まわり、安全で安心して生活できる住みよいまちをつくりましょう。

「ワンちゃんをきっかけに、地域の異年代の皆さんと輪が広がりました。」  
「これからも地域とつながりながら、安全に生活していきたいと思うようになりました。」

「自分自身のマナーを見直すようになりました。ちゃんとした

「一つだけ、散歩の時に散歩バッグとリード

標（蛍光色のタグ）を携帯することに

なっています。

このグッズを身につけることで、地域の子供たち



公園を散歩している「モモ太郎」  
(トイプードル・3歳)

編集後記  
ワンちゃんの散歩が犯罪の抑止力になり、まちの環境美化にもなる、このアイデアに感じました。  
今回の取材中、公園や住宅地を散歩しているワンちゃんが次々に登場してくれました。ワンちゃん地域がつながっていることを実感しました。このような活動が町内に広がれば、と思います。



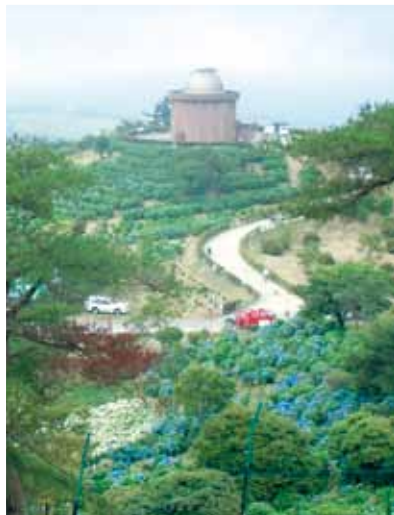
# ふおと にゅ〜す

大野山に涼を求めて  
あじさいまつりに4千人



▼7月6・7日、大野アルプスランドで第18回あじさいまつりが開催され、町内外から約4千人の参加者が山頂付近に広がる「空に溶け込む天空のあじさい」を楽しみました。

参加者は、ステージでの各グループによる生演奏や公演、地元新鮮野菜、いなぼう焼きや猪肉を使用した「いなぼうバーガー」、町観光ボランティアガイドによる岩めぐりなどを楽しみました。



七夕に願いを託す

▼7月5日、町立猪名川保育園で七夕まつりが開催され、園児たちは願い事を書いた手づくりの短冊を笹に飾りました。

また、当日の給食には、そうめんを天の川に、星形にかたどったニンジンやオクラを織姫と彦星にみたてた七夕メニューが用意され、みんなでおいしく食べました。



## パラリンピック金メダリスト 楊津小で講演会

▼6月26日、楊津小学校で、シドニーパラリンピックの水泳で「金メダル」に輝いた加藤作子さんの講演会が開催されました。

加藤さんは子どもの時に病気になる、下半身に障がいが残る中、上半身だけを使って水泳の練習を繰り返し、パラリンピックで見事金メダルを獲得されました。

「夢に向かって努力することや家族を大切にし、周りの人たちと助け合って生きていくことの大切さ」を子どもたちに語りました。



## 鶴田消防士が全国消防職員 意見発表で入賞

▼6月26日、北九州市で開催された第36回全国消防職員意見発表で、本町消防本部の鶴田大樹消防士が近畿支部（大阪・兵庫）代表として参加し入賞しました。

鶴田消防士は、救急現場で出会った耳の不自由な女性から相手の立場を考える心を学び、その思いに応えられるよう日々努力していることをテーマに意見発表し、その弁論内容が高く評価されたものです。



## 香港の大学生が町長を表敬訪問

▼7月3日、香港在住の大学生6人（写真後列中央）が福田町長を表敬訪問しました。

彼らは香港中華YMCAよりキャンプカウンセラープログラムの一環として派遣されたもので、8月10日まで町内でホームステイしながら、幼稚園、小・中学校を視察したり史跡を訪問するなど、町の歴史や文化なども学びます。



## 「ふれあいバス」夏休み無料乗車 キャンペーンを実施中

▶夏休み期間中、町内の小学生（保護者同伴）と中学生は無料チケットの提示で運賃がかりません。

プールや図書館など、夏休みのおでかけは、ふれあいバスに乗りう！車内ではふれあいバスクイズもやっています。



## 公共施設で節電に取り組んでいます

▶町では、一昨年の夏以降、継続的な節電への取り組みを強化しています。

この夏も、本庁舎をはじめ各公共施設でグリーンカーテンなどを作り、室内の温度上昇を抑えたり、各方面への啓発などに力を入れています。



## 街頭で明るい選挙を啓発

▼7月14日、町内の大規模商業施設入口で、町選挙管理委員会、町明るい選挙推進協議会の会員といなぼうが、7月21日投開票の兵庫県知事選挙および参議院議員通常選挙に向けて、通行人に投票を呼びかけました。

